

志
羅

六拾編上



菊壽文

へ13
1178
119

奴飛

藻野

語

柳亭種彦作

朝霞樓芳幾画

己初冬
發兌



へ13
1178
120

下編



志

羅

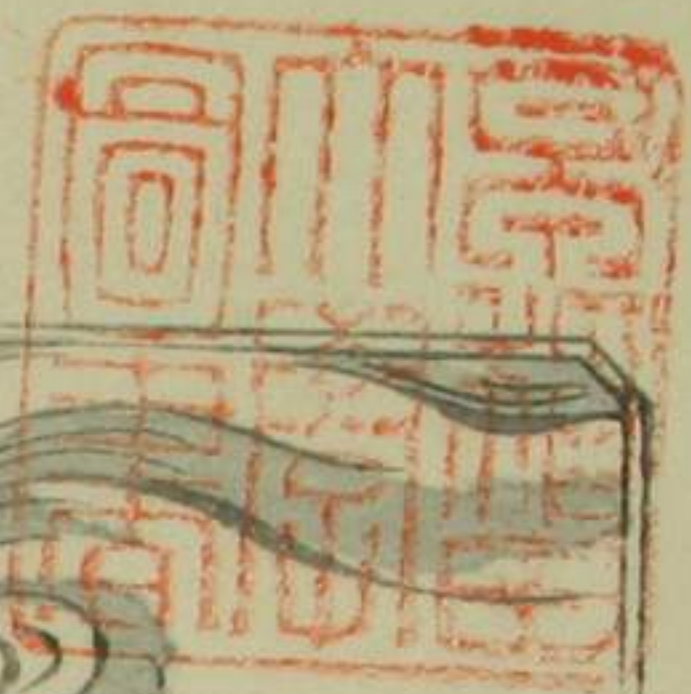


六拾編上

菊壽文

へ13
1178
119

1178
119

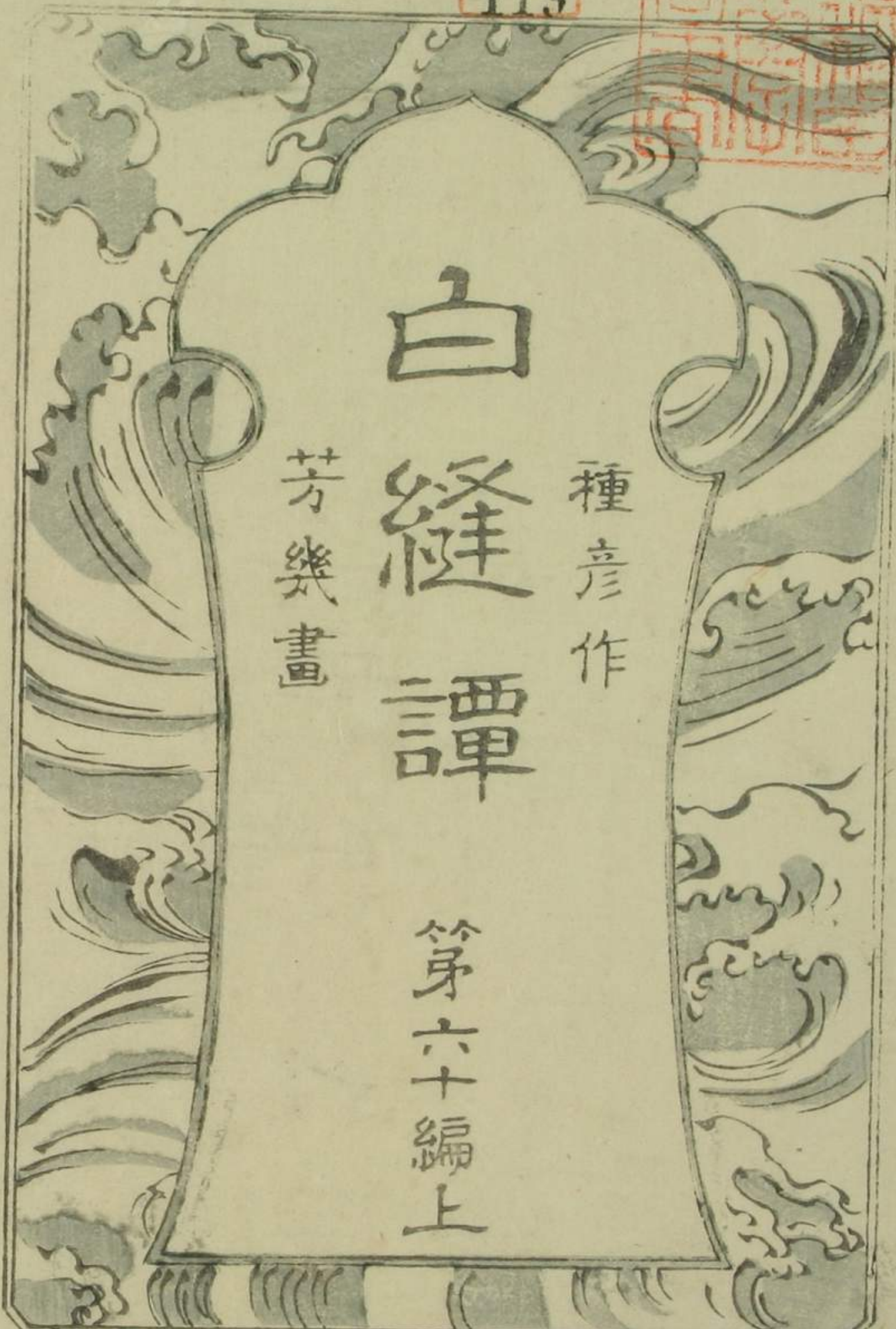


白縫譚

種彦作

芳幾畫

第六十編上

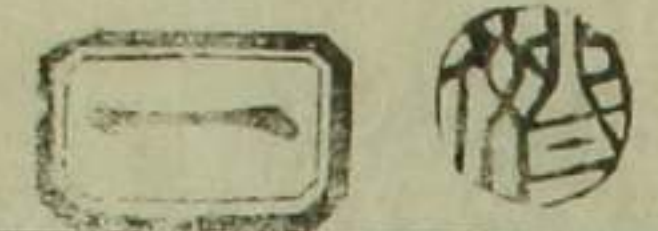


白縫譚十六編叙

えて道学ミチガクの申状ウケガタより孔子コウジの曰イハレ六十ロクジュウにして耳順ミミノツラシふとい
 此人コノヒト六十歳ロクジュウノトシありてこれバ人ヒトが我オレを譏アザカシても耳ミミは逆サカサマふ語コトを聞キ
 ても人の分量リキリヤウを料知リヤウチり我徳不徳オレノトクナクを省シラベみて腹ハラの喜ヨキなり
 是段コノトキと年トシが寄ヨて不見強ミヤクくまりたるも此冊子コノチハシも
 幸マコト有アルて六十編ロクジュウノマキも至いたるにつれ長く續つくが手柄テガタのよみて次
 第ツグの味アジが淡ウツクくちると誹ヒられても美うらひ作つくまぬも下手ウツク故ゆせは
 齡としさ六十ロクジュウをうて老おい々々にして筆ふでさだめ七十編ナナジウノマキも暨あるが
 ぶんを物ものふなると心こころの欲ほまるころは隨したがふ一家言イツカノコトといひ
 張はらん欲ほさるこそ勸善懲惡コトノトシの規かぎを踰こぎはさてありまん

庚午孟春

柳亭種彦記





奥村後家津家

助之半鬃次同



秋作妻照葉

同嫡子満太郎



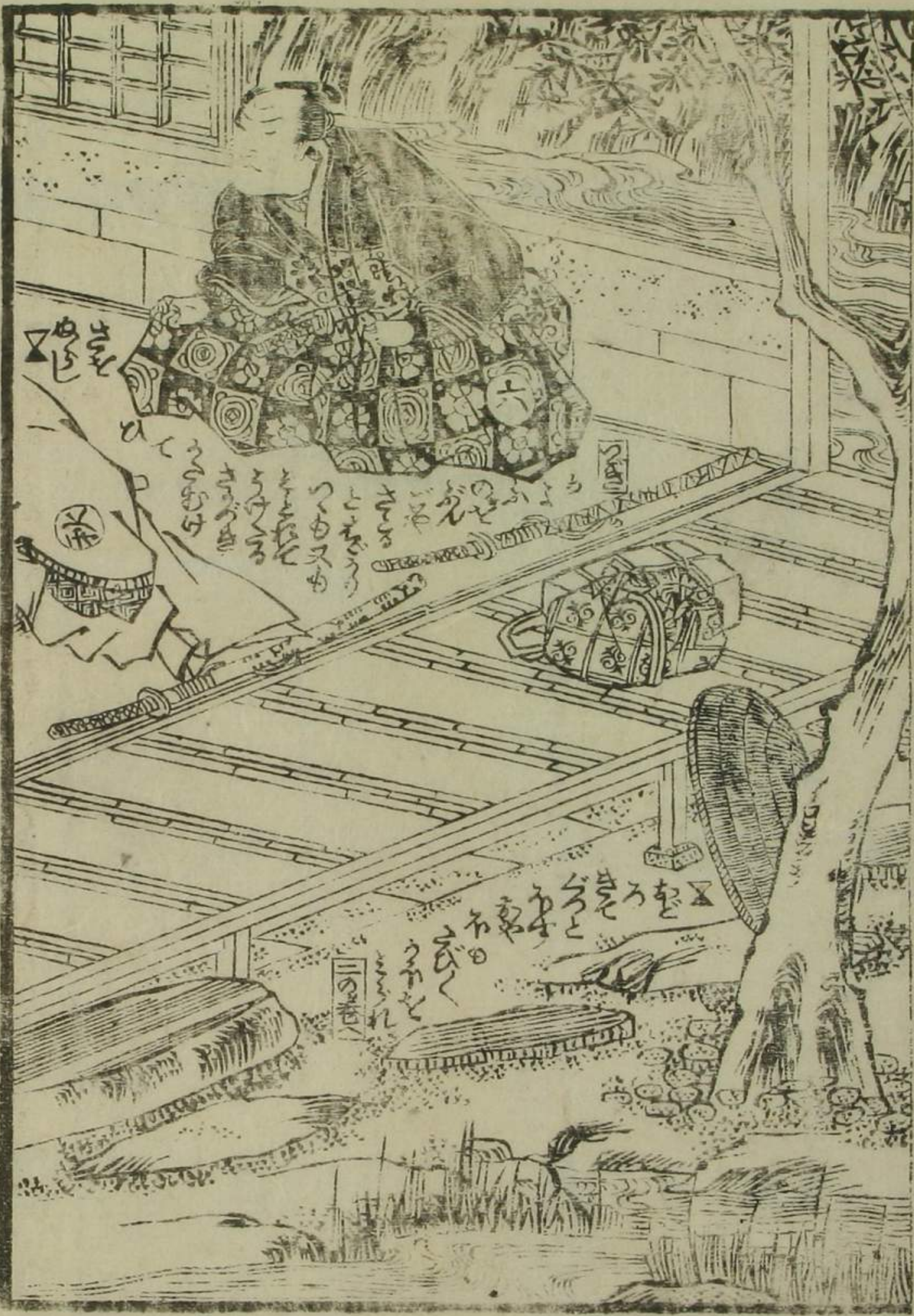
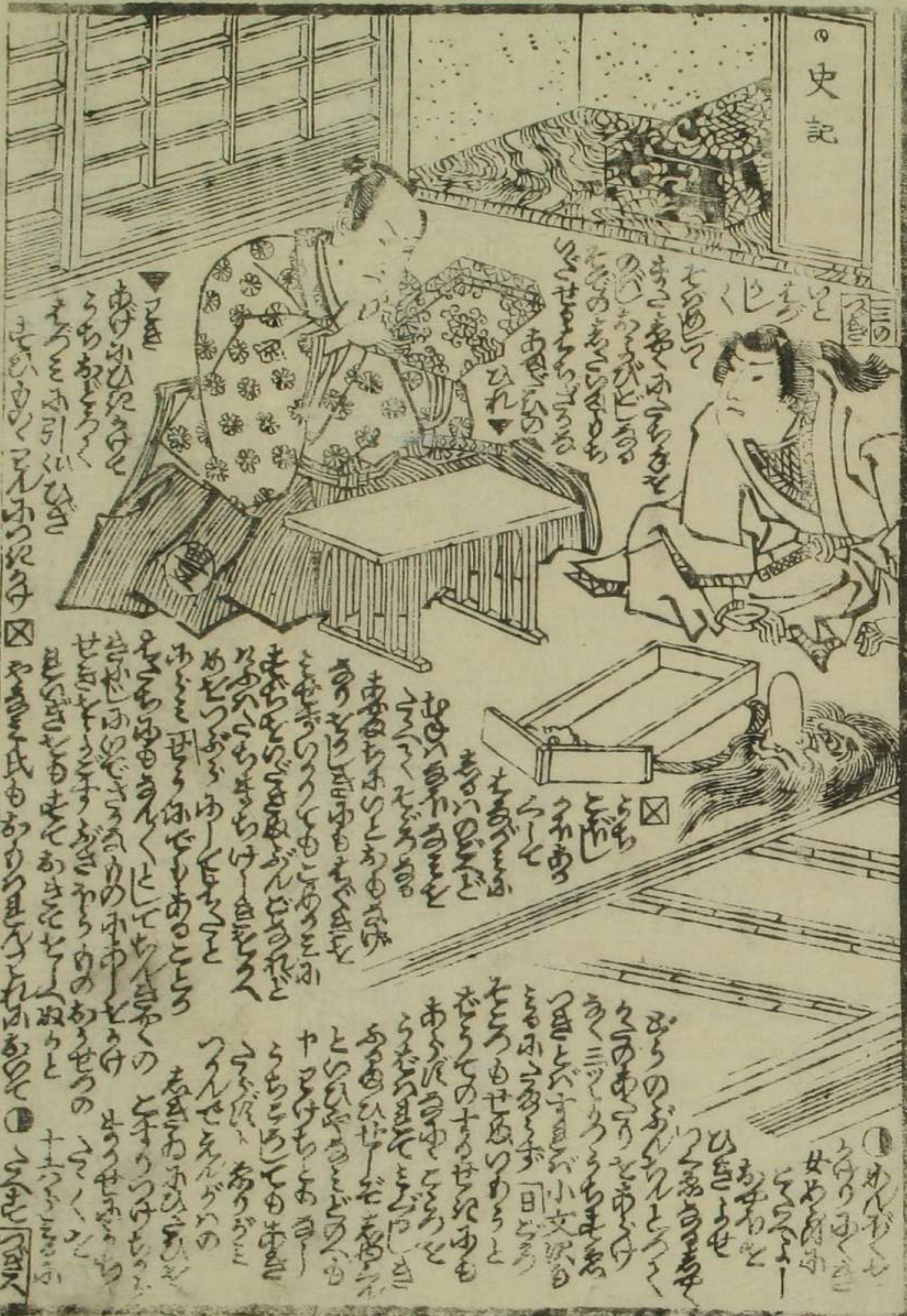
二三四五のうた
 六七八九のうた
 十のうた
 十一のうた
 十二のうた
 十三のうた
 十四のうた
 十五のうた
 十六のうた
 十七のうた
 十八のうた
 十九のうた
 二十のうた
 二十一のうた
 二十二のうた
 二十三のうた
 二十四のうた
 二十五のうた
 二十六のうた
 二十七のうた
 二十八のうた
 二十九のうた
 三十のうた
 三十一のうた
 三十二のうた
 三十三のうた
 三十四のうた
 三十五のうた
 三十六のうた
 三十七のうた
 三十八のうた
 三十九のうた
 四十のうた
 四十一のうた
 四十二のうた
 四十三のうた
 四十四のうた
 四十五のうた
 四十六のうた
 四十七のうた
 四十八のうた
 四十九のうた
 五十のうた
 五十一のうた
 五十二のうた
 五十三のうた
 五十四のうた
 五十五のうた
 五十六のうた
 五十七のうた
 五十八のうた
 五十九のうた
 六十のうた
 六十一のうた
 六十二のうた
 六十三のうた
 六十四のうた
 六十五のうた
 六十六のうた
 六十七のうた
 六十八のうた
 六十九のうた
 七十のうた
 七十一のうた
 七十二のうた
 七十三のうた
 七十四のうた
 七十五のうた
 七十六のうた
 七十七のうた
 七十八のうた
 七十九のうた
 八十のうた
 八十一のうた
 八十二のうた
 八十三のうた
 八十四のうた
 八十五のうた
 八十六のうた
 八十七のうた
 八十八のうた
 八十九のうた
 九十のうた
 九十一のうた
 九十二のうた
 九十三のうた
 九十四のうた
 九十五のうた
 九十六のうた
 九十七のうた
 九十八のうた
 九十九のうた
 百のうた



一のうた
 二のうた
 三のうた
 四のうた
 五のうた
 六のうた
 七のうた
 八のうた
 九のうた
 十のうた
 十一のうた
 十二のうた
 十三のうた
 十四のうた
 十五のうた
 十六のうた
 十七のうた
 十八のうた
 十九のうた
 二十のうた
 二十一のうた
 二十二のうた
 二十三のうた
 二十四のうた
 二十五のうた
 二十六のうた
 二十七のうた
 二十八のうた
 二十九のうた
 三十のうた
 三十一のうた
 三十二のうた
 三十三のうた
 三十四のうた
 三十五のうた
 三十六のうた
 三十七のうた
 三十八のうた
 三十九のうた
 四十のうた
 四十一のうた
 四十二のうた
 四十三のうた
 四十四のうた
 四十五のうた
 四十六のうた
 四十七のうた
 四十八のうた
 四十九のうた
 五十のうた
 五十一のうた
 五十二のうた
 五十三のうた
 五十四のうた
 五十五のうた
 五十六のうた
 五十七のうた
 五十八のうた
 五十九のうた
 六十のうた
 六十一のうた
 六十二のうた
 六十三のうた
 六十四のうた
 六十五のうた
 六十六のうた
 六十七のうた
 六十八のうた
 六十九のうた
 七十のうた
 七十一のうた
 七十二のうた
 七十三のうた
 七十四のうた
 七十五のうた
 七十六のうた
 七十七のうた
 七十八のうた
 七十九のうた
 八十のうた
 八十一のうた
 八十二のうた
 八十三のうた
 八十四のうた
 八十五のうた
 八十六のうた
 八十七のうた
 八十八のうた
 八十九のうた
 九十のうた
 九十一のうた
 九十二のうた
 九十三のうた
 九十四のうた
 九十五のうた
 九十六のうた
 九十七のうた
 九十八のうた
 九十九のうた
 百のうた

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 百

史記





奴飛

藻野

語

柳亭種彦作

朝霞樓芳幾画

己初冬

發兌



13
1178
120

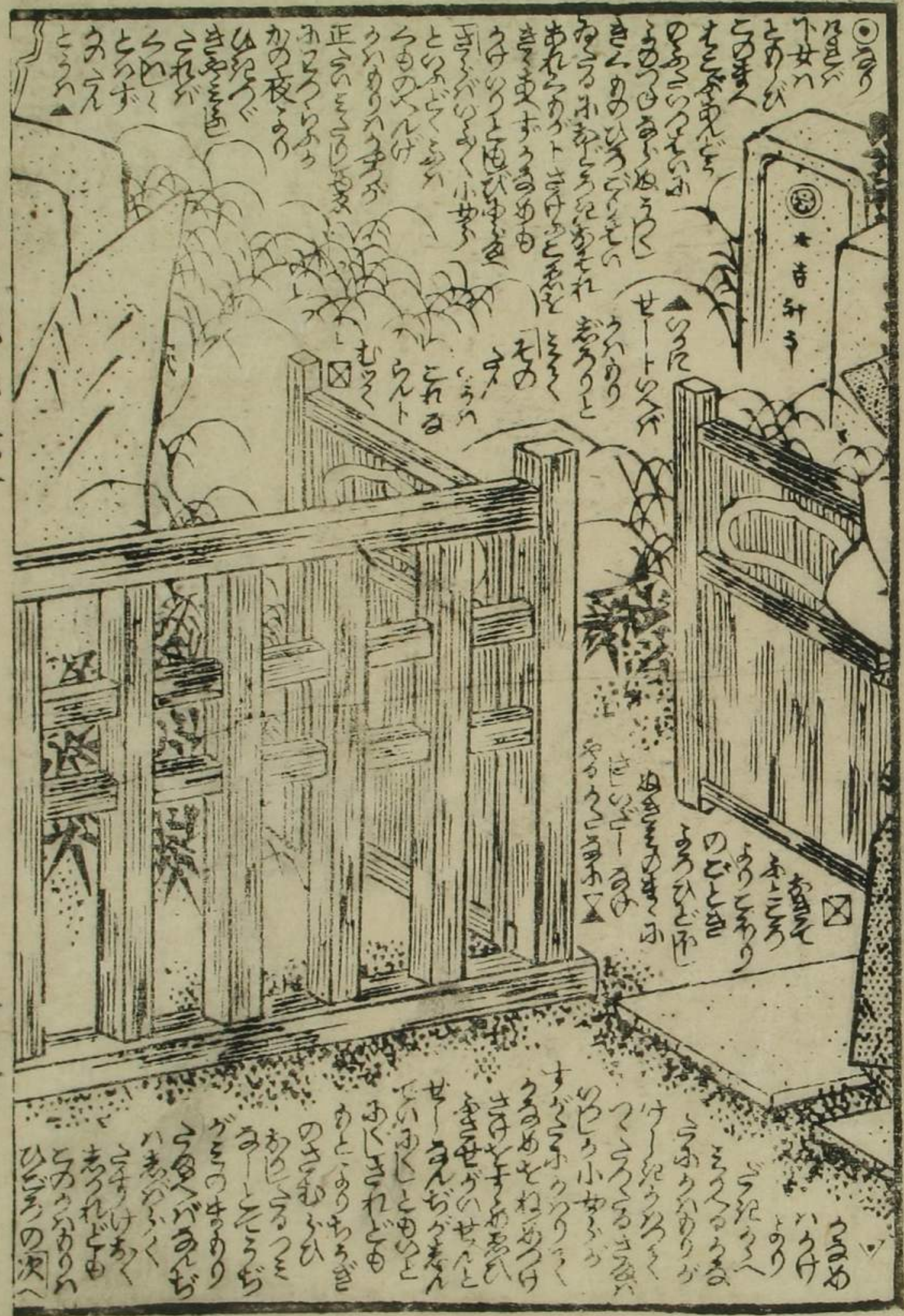
下編十一



Handwritten text in Japanese, likely a dialogue or narrative, positioned below the illustration. The text is written in a cursive style and includes several lines of characters.



Handwritten text in Japanese, likely a dialogue or narrative, positioned around the illustration. The text is written in a cursive style and includes several lines of characters.





あはれいふ

十七

